

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月13日
【四半期会計期間】	第54期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社グルメ杵屋
【英訳名】	GOURMET KINEYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 椋本 充士
【本店の所在の場所】	大阪市住之江区北加賀屋三丁目4番7号
【電話番号】	06 - 6683 - 1222(代)
【事務連絡者氏名】	経理部長 大西 由美
【最寄りの連絡場所】	大阪市住之江区北加賀屋三丁目4番7号
【電話番号】	06 - 6683 - 1222(代)
【事務連絡者氏名】	経理部長 大西 由美
【縦覧に供する場所】	株式会社グルメ杵屋東京本部 （東京都港区浜松町二丁目13番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期連結 累計期間	第54期 第2四半期連結 累計期間	第53期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (百万円)	19,720	20,007	41,047
経常利益 (百万円)	383	518	746
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	157	344	330
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	110	350	284
純資産額 (百万円)	15,506	15,682	15,700
総資産額 (百万円)	34,941	36,403	35,481
1株当たり四半期(当期)純利 益 (円)	7.00	15.25	14.64
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	42.49	41.41	42.27
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	113	120	1,352
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	1,988	1,176	4,377
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	2,478	620	2,160
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	7,293	5,610	6,047

回次	第53期 第2四半期 連結会計期間	第54期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	7.55	13.05

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、セグメントごとの主要な関係会社の異動については、以下の通りです。

(レストラン事業)

(株)吉番亭本部が(株)ケンショーエンタープライズ及び(株)トータルフードコーポレーションを2019年4月1日付で吸収合併しております。

(業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒケータリングは2019年4月1日付で商号を(株)アサヒウェルネスフーズに変更しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や堅調な設備投資等を背景に景気は緩やかな回復基調ではあるものの、世界の貿易摩擦激化など海外の政治経済情勢の不確実性の高まりの影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業を取り巻く環境は、人手不足を背景とした人件費の上昇や原材料費の上昇に加え、業種・業態の垣根を越えた顧客獲得に向けた企業間競争の激化など、引き続き厳しい経営環境に直面しています。

このような環境下で当社グループは、「食」とは文字通り「人を良くする」ものであるという価値観を共有し体現していくことで、世界の人々のより良いライフオリティと豊かな人生の実現に貢献していくため、「ホールディングス機能の強化によるグループ収益力の強化」「投資案件への積極的な取り組み」「グローバル展開」「人材育成と職場環境の改善」を重点戦略として推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高200億7百万円（前年同期比2億87百万円増）、営業利益4億78百万円（前年同期は営業利益3億94百万円）、経常利益5億18百万円（前年同期は経常利益3億83百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億57百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (レストラン事業)

レストラン事業においては、既存店の好調を柱に、改装、店舗委託制度を推進致しました。その結果、新規出店は(株)吉番亭本部の「らーめん桜亭」1店舗であり、改装は10店舗実施し、このうち3店舗は業態変更を行いました。退店は14店舗であり、うちフランチャイズ店舗への移行を6店舗行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、39都道府県に428店舗（フランチャイズ店舗65店舗を含む）となりました。店舗数減に伴う売上高の減少により減収となりましたが、人手不足による人件費上昇の影響はあるもののコストコントロールの効果により増益となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は140億66百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益5億78百万円（前年同期は5億44百万円の利益）となりました。

#### (機内食事業)

(株)エイエイエスケータリングにおいては、関西国際空港における中国便及び中東便等でのインバウンドの搭乗客が引き続き増加したことで好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は32億66百万円（前年同期比26.4%増）、セグメント利益1億80百万円（前年同期は25百万円の利益）となりました。

#### (業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒウェルネスフーズにおいては、貝塚市に移転した新工場の稼働開始に伴う一時的なコストの発生や冷凍弁当の受注減により減収減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は7億42百万円（前年同期比12.5%減）、セグメント損失78百万円（前年同期は20百万円の損失）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

大阪木津市場(株)においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの、新たに建設した食品加工場の賃貸開始等により増収増益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は3億50百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益1億55百万円（前年同期は1億30百万円の利益）となりました。

#### (運輸事業)

水間鉄道(株)においては、観光客誘致や沿線地域でのイベントの開催等の取り組みを続けていることにより増収となりました。またコストコントロールの効果により増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億33百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益10百万円（前年同期は9百万円の利益）となりました。

(その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量はほぼ前年同期並みに推移し増収減益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は販売数量が減少したことにより減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は13億47百万円(前年同期比5.1%減)、セグメント損失22百万円(前年同期は23百万円の利益)となりました。

財政状態につきましては、次のとおりです。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は99億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億77百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品6億31百万円の増加によるものであります。固定資産は264億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億44百万円増加いたしました。これは主に連結子会社である(株)アサヒウェルネスフーズの新工場稼働による増加を含む有形固定資産4億96百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、364億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億22百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は80億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億13百万円増加いたしました。これは主に短期借入金5億70百万円及び1年内返済予定の長期借入金1億89百万円の増加によるものであります。固定負債は126億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加いたしました。これは主に長期借入金4億67百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、207億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億40百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は156億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に非支配株主持分94百万円の減少、配当金の支払い2億70百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益3億44百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は41.4%(前連結会計年度末は42.3%)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ4億36百万円減少し、56億10百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが1億20百万円の収入(前年同四半期は1億13百万円の支出)、投資活動によるキャッシュ・フローが11億76百万円の支出(前年同四半期は19億88百万円の支出)、財務活動によるキャッシュ・フローが6億20百万円の収入(前年同四半期は24億78百万円の収入)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益4億91百万円、減価償却費5億37百万円、減損損失42百万円、たな卸資産の増加額7億12百万円、未払消費税等の減少額1億75百万円等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出11億70百万円、退店等による差入保証金の回収による収入1億39百万円等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入6億円、長期借入れによる収入20億47百万円、長期借入金の返済による支出13億91百万円、社債の償還による支出2億15百万円、配当金の支払額2億77百万円等を反映したものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	22,610,359	22,610,359	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	22,610,359	22,610,359	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	22,610,359	-	5,838,236	-	6,766,590

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社MUKUMOTO	大阪市住吉区清水丘3丁目11-15	5,745	25.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,368	6.06
棕本 充士	大阪市住吉区	1,048	4.64
西脇 あづさ	大阪市住吉区	852	3.78
棕本 裕子	大阪市住吉区	660	2.93
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1丁目23-1	422	1.87
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	356	1.58
サントリー酒類株式会社	東京都港区台場2丁目3-3	322	1.43
株式会社紀陽銀行	和歌山県和歌山市本町1丁目35番地	278	1.23
西脇 良彦	大阪市住吉区	264	1.17
計	-	11,317	50.14

(注) 当第2四半期会計期間末現在における、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の信託業務に係る株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 36,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,565,000	225,650	-
単元未満株式	普通株式 9,259	-	-
発行済株式総数	22,610,359	-	-
総株主の議決権	-	225,650	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権の数50個)含まれております。なお、証券保管振替機構名義の株式5,000株(議決権の数50個)については、名義書換失念株式になっております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社グルメ杵屋	大阪市住之江区北加賀屋三丁目4番7号	36,100	-	36,100	0.16
計	-	36,100	-	36,100	0.16

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、桜橋監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	6,047,149	5,610,513
預け金	846,875	718,624
売掛金	1,503,298	1,614,030
商品及び製品	455,302	1,086,682
原材料及び貯蔵品	281,991	363,454
短期貸付金	728	482
その他	373,207	592,224
貸倒引当金	2,657	2,140
<b>流動資産合計</b>	<b>9,505,894</b>	<b>9,983,871</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	25,656,032	27,466,137
減価償却累計額	19,241,618	19,397,653
建物及び構築物(純額)	6,414,413	8,068,484
機械装置及び運搬具	2,363,105	2,822,497
減価償却累計額	1,840,643	1,904,181
機械装置及び運搬具(純額)	522,461	918,315
工具、器具及び備品	1,884,031	2,031,275
減価償却累計額	1,347,478	1,373,016
工具、器具及び備品(純額)	536,553	658,258
土地	8,353,917	8,356,356
建設仮勘定	2,017,049	339,240
<b>有形固定資産合計</b>	<b>17,844,397</b>	<b>18,340,655</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	244,072	225,770
その他	57,521	88,965
<b>無形固定資産合計</b>	<b>301,594</b>	<b>314,735</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,917,136	1,895,450
長期貸付金	61,554	70,739
差入保証金	5,699,637	5,587,804
繰延税金資産	69,401	71,161
その他	100,533	157,881
貸倒引当金	18,706	18,705
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>7,829,555</b>	<b>7,764,331</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>25,975,547</b>	<b>26,419,723</b>
<b>資産合計</b>	<b>35,481,442</b>	<b>36,403,595</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,146,339	1,219,353
短期借入金	330,000	900,000
1年内償還予定の社債	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	2 2,426,136	2 2,615,723
リース債務	31,839	33,849
未払金	460,515	307,872
未払費用	1,831,764	1,717,700
未払法人税等	135,516	151,197
未払消費税等	134,236	162,240
賞与引当金	134,442	188,968
資産除去債務	26,503	18,348
その他	249,096	305,013
流動負債合計	7,336,390	8,050,268
固定負債		
社債	730,000	515,000
長期借入金	2 8,079,232	2 8,546,279
リース債務	37,864	19,813
長期未払金	128,725	132,762
繰延税金負債	1,393,223	1,393,223
資産除去債務	1,130,038	1,123,477
転貸損失引当金	12,750	11,250
退職給付に係る負債	132,907	134,033
その他	799,913	795,184
固定負債合計	12,444,657	12,671,023
負債合計	19,781,047	20,721,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,837,695	6,850,585
利益剰余金	2,029,624	2,103,103
自己株式	35,361	35,361
株主資本合計	14,670,196	14,756,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,133	368,023
為替換算調整勘定	23,689	47,370
退職給付に係る調整累計額	5,676	3,490
その他の包括利益累計額合計	326,767	317,163
非支配株主持分	703,430	608,574
純資産合計	15,700,394	15,682,302
負債純資産合計	35,481,442	36,403,595

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月 30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月 30日)
売上高	19,720,372	20,007,783
売上原価	11,791,363	12,022,847
売上総利益	7,929,008	7,984,935
販売費及び一般管理費	7,534,060	7,506,248
営業利益	394,947	478,687
営業外収益		
受取利息	2,479	2,187
受取配当金	16,127	24,005
賃貸料収入	37,444	31,671
その他	38,197	46,303
営業外収益合計	94,249	104,168
営業外費用		
支払利息	34,223	38,730
借入手数料	34,015	1,800
賃貸費用	20,925	20,385
その他	16,721	3,095
営業外費用合計	105,885	64,011
経常利益	383,311	518,844
特別利益		
固定資産売却益	300	6
投資有価証券売却益	-	22,473
受取補償金	1,916	12,500
受取保険金	-	13,207
特別利益合計	2,216	48,187
特別損失		
固定資産除却損	23,328	33,118
減損損失	103,851	42,846
退店違約金	1,000	-
その他	6,380	-
特別損失合計	134,560	75,964
税金等調整前四半期純利益	250,967	491,067
法人税等	84,343	119,066
四半期純利益	166,623	372,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,667	27,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,956	344,369

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	166,623	372,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,629	11,890
為替換算調整勘定	27,546	35,879
退職給付に係る調整額	5,040	2,379
その他の包括利益合計	56,135	21,609
四半期包括利益	110,488	350,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,770	334,769
非支配株主に係る四半期包括利益	282	15,621

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	250,967	491,067
減価償却費	432,268	537,789
減損損失	103,851	42,846
のれん償却額	8,548	18,302
長期前払費用償却額	13,613	19,300
賞与引当金の増減額(は減少)	24,172	54,525
貸倒引当金の増減額(は減少)	332	518
転貸損失引当金の増減額(は減少)	1,500	1,500
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	2,136	3,505
受取利息及び受取配当金	18,607	26,192
支払利息	34,223	38,730
投資有価証券売却損益(は益)	-	22,473
固定資産除却損	23,328	33,118
固定資産売却損益(は益)	300	6
売上債権の増減額(は増加)	247,913	17,485
たな卸資産の増減額(は増加)	759,087	712,842
仕入債務の増減額(は減少)	220,697	73,013
未払消費税等の増減額(は減少)	123,499	175,212
その他	14,843	192,720
小計	2,116	198,218
利息及び配当金の受取額	18,608	26,192
利息の支払額	34,603	40,096
法人税等の支払額	95,529	64,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,641	120,158
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
補助金の受取額	34,830	38,580
有形固定資産の取得による支出	1,595,864	1,170,362
無形固定資産の取得による支出	25,370	40,841
長期前払費用の取得による支出	6,326	74,655
店舗撤去に伴う支出	42,933	51,351
有形固定資産の売却による収入	300	7
投資有価証券の取得による支出	336,127	7,334
投資有価証券の売却による収入	-	26,170
貸付けによる支出	95,500	10,450
貸付金の回収による収入	4,454	1,510
差入保証金の差入による支出	70,105	27,294
差入保証金の回収による収入	143,856	139,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,988,787	1,176,620

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	740,000	600,000
短期借入金の返済による支出	260,000	30,000
長期借入れによる収入	3,699,550	2,047,810
長期借入金の返済による支出	1,386,210	1,391,175
社債の償還による支出	215,000	215,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	2,700	95,318
非支配株主からの払込みによる収入	261,145	-
配当金の支払額	337,525	277,736
ファイナンス・リース債務の返済による支出	15,758	16,040
自己株式の取得による支出	2,392	-
その他	2,274	2,274
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,478,834</b>	<b>620,263</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,029	437
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	348,376	436,635
現金及び現金同等物の期首残高	6,945,213	6,047,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,293,589	5,610,513

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、(株)荻番亭本部が(株)ケンショーエンタープライズ及び(株)トータルフードコーポレーションを吸収合併したため、(株)ケンショーエンタープライズ及び(株)トータルフードコーポレーションを連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

他の会社の金融機関からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
社会福祉法人ジー・ケー社会貢献会	455,280千円	443,220千円

2 財務制限条項

当社は、2018年6月26日付で(株)三井住友銀行をアレンジャーとする、既存取引行4行によるコミット型シンジケートローン契約を締結しております。この契約には、以下の財務制限条項が付されております。

2019年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体及び連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額のいずれかを、当該事業年度の直前の単体及び連結の貸借対照表に記載される純資産の部の合計金額の75%に相当する金額以上に維持すること

2019年3月期末日及びそれ以降の各事業年度末日における単体の損益計算書に記載される経常損益を2期連続して損失としないこと

上記財務制限条項のほか、担保制限条項が付されております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給料手当	3,191,088千円	3,120,382千円
賞与手当	10,170千円	7,524千円
賞与引当金繰入額	51,534千円	58,529千円
退職給付費用	16,826千円	16,802千円
消耗品費	149,809千円	139,339千円
賃借料	1,911,548千円	1,814,993千円
水道光熱費	229,083千円	228,746千円
減価償却費	274,584千円	310,989千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金勘定	7,293,589千円	5,610,513千円
現金及び現金同等物	7,293,589千円	5,610,513千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月20日 定時株主総会	普通株式	338,642	15	2018年3月31日	2018年6月21日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月19日 定時株主総会	普通株式	270,890	12	2019年3月31日	2019年6月20日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,306,410	2,583,969	849,353	327,668	232,645	18,300,045	1,420,326	19,720,372	-	19,720,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	13,686	77,900	-	28,964	120,552	597,036	717,589	717,589	-
計	14,306,410	2,597,656	927,253	327,668	261,609	18,420,598	2,017,363	20,437,961	717,589	19,720,372
セグメント利益又は 損失( )	544,245	25,239	20,992	130,730	9,297	688,520	23,906	712,426	317,479	394,947

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 317,479千円は、主に各報告セグメントに配分していない  
全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を  
103,851千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりませ  
ん。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。



当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン 事業	機内食事業	業務用冷凍 食品製造事 業	不動産賃貸 事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	14,066,464	3,266,972	742,879	350,166	233,669	18,660,151	1,347,631	20,007,783	-	20,007,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	33,063	9,649	5,264	-	43,011	90,988	583,813	674,802	674,802	-
計	14,099,527	3,276,621	748,143	350,166	276,681	18,751,140	1,931,445	20,682,585	674,802	20,007,783
セグメント利益又は 損失( )	578,654	180,491	78,825	155,117	10,826	846,264	22,665	823,599	344,911	478,687

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 344,911千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合等については、四半期連結財務諸表に与える影響額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	7円00銭	15円25銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	157,956	344,369
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	157,956	344,369
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,575	22,574

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

株式会社グルメ杵屋

取締役会 御中

桜橋監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 川崎 健一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 北岡 慎太郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グルメ杵屋の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グルメ杵屋及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。